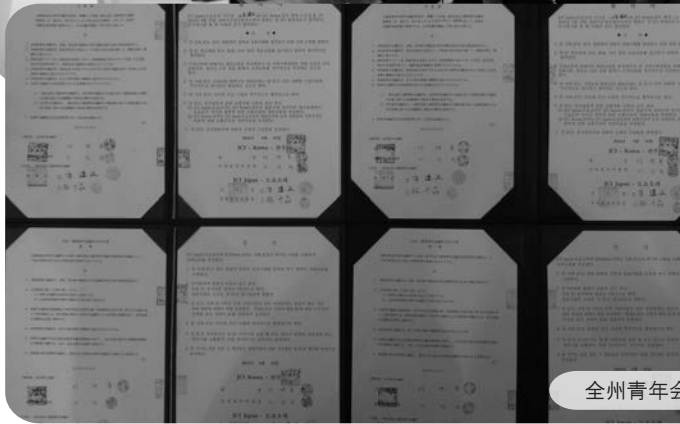




4月第1例会



4月第2例会



全州青年会議所公式訪問



全州青年会議所公式訪問を終えて



国際関係委員長
小林 千晶

全州青年会議所公式訪問前に、多くの死者や行方不明者を出した旅客船セウォル号の沈没事故を悼み、大韓民国国内の祝賀イベントは軒並み自粛され、創立50周年記念式典、50周年記念事業が同じく中止となりました。しかし、その緊急事態にも関わらず、我々メンバーをもてなす為に、全州青年会議所メンバーが真剣に行程

の調整をしている姿を目の当たりにし、これまで培われた友情を強く感じることができました。

初日は、水原華城や韓国民俗村を探訪した後、夕食会が催され、全州青年会議所メンバーや特友会の皆様方の熱烈な歓迎を受け、永きに亘り受け継がれてきた歴史と伝統を肌で感じられました。2日目は午前中に公式会議を行い、今後の姉妹交流についての協議を行い、合意書、覚書の内容を参加者全員で確認し、調印式を行いました。その後は、クレー射撃やサバイバルゲームを行い、夜は、夕食会、その後、パート別に分かれ、更なる友好を深めてまいりました。3日目は、全州青年会議所の記念事業

でもある、50周年記念樹と記念碑を見学し、別れを惜しむように多くの全州青年会議所メンバーに見送られながら、全州の地を後にしました。

3日間の交流を通して、全州青年会議所メンバーと多くの時間を共に過ごし、お互いの文化や価値観の違いの壁を越え、一人ひとりの絆を更に深めることができました。そして、この積み重ねが両青年会議所にとってこれからも様々な交流を行っていく上で必要な礎となっていくことを実感しました。

最後になりますが、特別会員として、全州青年会議所公式訪問に参加していただいた先輩方、そしてLOMメンバーに心から感謝申し上げます、本当にありがとうございました。



全州青年会議所公式訪問

於：大韓民国 全州市

この度、J C入会後初めて全州青年会議所公式訪問に国際関係委員会副委員長という立場で参加させて頂きました。前日に起こった韓国の旅客船沈没事故により、全州青年会議所創立50周年記念式典等の祝賀行事が全て中止となり、日程が大幅に変更となったことを当日に聞かされました。初めは緊張と不安で一杯でしたが、全州青年会議所メンバーが深夜まで協議をし、中止という結論に至ったこと。何よりも、それでも我々を素晴らしいおもてなしで温かく迎えてくれる彼らに対し、とても熱い気持ちを覚えると共に、先輩諸兄が育てられた深い友情と絆を肌で感じる事が出来ました。

この公式訪問に参加する機会を頂きました事に感謝致します。そして、ご参加及びご協力頂きました皆様に心より御礼申し上げます。
(国際関係委員会副委員長 手塚 将之)



水原華城散策



国弓体験



韓国民俗村訪問



コアリバラホテル



李会長主催の晩餐会



金勳OBと寺川OB



公式会議



朴内務副会長主催の昼食会



クレー射撃体験



サバイバルゲーム交流



金常任副会長主催の晩餐会



全州青年会議所50周年記念碑

《全州青年会議所公式訪問団》

寺川茂OB、今井巳OB、萩原哲也OB

二方道正、西村総一郎、坂本裕、小西晴久、熊田宏章、池内資倫、坂本高洋、中島丈裕、大石聡正、小林千晶、手塚将之、久保田一三、細川太郎、浜田裕一郎君

(特別会員3名、正会員14名、合計17名)



日々、熱い想いをもって活動するJCメンバーの躍動感をお伝えすべく、躍動と題しまして色々な角度から特集させていただきます。其の参として、LEGEND OF THE JCと致しまして、全州青年会議所との姉妹締結に関わりの深い第14代理事長の田口OBよりインタビューを頂戴して参りました。

LEGEND OF THE JC

広 報 〉 全州青年会議所との姉妹締結のきっかけを教えてくださいませんか？

田口OB 〉 日本JCで国際交流系の委員会が設立され、各LOMにぜひ国際関係の委員会を設立して頂きたいと、話がありました。この頃の岸内閣の時に韓国と国交正常化され、一番近くて遠い国であったが、日本JCから豊岡は韓国が一番近いところにあるのだからという話があり、当時の卯野副理事長が兼務することということで委員会が発足され、交流するにあたり韓国JCより全州JCを推薦されたのがきっかけです。

広 報 〉 当時どのようにして連絡を取り合っていたのですか？

田口OB 〉 今のようにメールや電話ですぐに連絡がつかない時代であったので、郵送で手紙を送っても何ヶ月かかるか分からないし、韓国語で返事が来た時には訳す事に苦労した。そこで、当時の全州JCには日本語が話せる人がいたので、電話でやり取りをしたが、これもなかなか大変で、ソウルまでは回線で直ぐに繋がるが、地方までとなると、回線をその度一つ一つ繋げる方式だったので、朝九時に事務局から国際電話を申し込んだとしても、いつ電話がかかってくるかわからなかった、そのため電話がかかってくるまでずっと待機していて、夜の六時まで待っていてもかかってこなかったらすべてキャンセルとなり、また次の日に再度申し込むことを何度もした。そして、たまたま繋がっても、時々日本語が出来ない人がでたり、雑音が多く入りちょっとしたことで中々話が進まなかった。そして、電話で言った言わないが無いように覚書を交わすことになりました。

広 報 〉 最初に全州に訪問されたのは？

田口OB 〉 国交正常化後、約一カ月経たないくらいで仮調印を行うため十数名のグループで全州に訪問したのだが、ビザを取ることに時間がかかり大変だったので、神戸の韓国領事館にいきお願いしたところ、当時おられた領事が希望に沿うようにビザを降るようにならされた。そして、本来ならばビザを取りに行くのが当たり前だったが、領事自ら豊岡まで届けに来てくださったことはとても記憶に残っている。

広 報 〉 現役メンバーに一言お願いいたします。

田口OB 〉 昔は変なプライドが有り、カッコつけが多くてすってんてんになるまで楽しんだ。今はそう言う訳にはいかないですが、型にハマらないで、沢山苦労して、大いに楽しんでください。



当時の全州青年会議所メンバーで画家のペッカさんから頂いた絵と田口OB

4月11日(金)18:30~21:30

総務委員会

4月第1例会

於：じばさんTAJIMA5F豊岡靴協会ホール



4月第1例会では、講師に公益財団法人修養団より久世郁夫氏をお迎えし、正しい価値観を身に付け行動するための心構えを学ぶ機会となるよう「美しい心」というテーマで、ご講演を頂きました。

社会教育団体として知られる修養団の教えを、メンバー全員で詩の唱和や体を動かして体感し、多くの学びと気づきを得ることができました。また、一般社団法人南但青年会議所と兵庫ブロック協議会より計2名のオブザーバーをお迎えし、講演へのご参加や会員スピーチにもご登壇を頂くなどの積極的参加を頂戴することで、LOMメンバーにとって有意義な刺激となりました。定刻に従い4月第1例会は無事に閉会となりました。(総務委員会副委員長 池内 資倫)

4月第2例会

於：じばさんTAJIMA5F豊岡靴協会ホール



LOM理念創出
特別委員長
福井 喜宏

勉強会 「進化への道」～威風堂々とした団体であるために～

中長期的なLOMの理念に創出した5年後10年後、威風堂々とした団体であるために、今「何が問題で」「何をすべきで」「どう行動するか」等、当委員会では事前にメンバーに対し行ったヒアリングアンケートを参考に様々な項目に渡り議論を行ってきた。

勉強会では、これまで議論してきた内容をメンバーに分かり易く説明したと共に、今後LOMがどのような方向性で進むべきか指針を標した。LOMを進化させるために最も必要なこと、それはメンバーが一丸となって共通認識による行動を起こすことだと考える。この事業を契機にメンバー一人ひとりがLOMの将来についてより真剣に考え、未来に向かって力強く進化のための行動を起こしてほしいと切に願う。



■ 事業案内 ■

■ 会員家族会～Hold your hand～

日時 5月17日(土) 10:30～14:30
場所 弁天浜キャンプ場(豊岡市竹野町西町)
ホスト 会員交流委員会

■ おかしの心を伝えよう～思いやる心・感謝する心・信じる心～

日時 5月・6月
場所 豊岡市内の中学校
ホスト 美徳教育継承委員会

■ 6月第1例会

日時 6月13日(金)18:30～21:30
場所 但馬空港ターミナルビル多目的ホール
講演 「金融機関から見る企業の経営リスク管理と事業承継」
講師 森本 耕治氏
但馬信用金庫 企業支援部 企業支援課 担当課長
川上 晃弘氏
但馬信用金庫 企業支援部 企業支援課 担当課長
ホスト 総務委員会

■ 指導力開発講座～劍禅一如～(6月第2例会)

日時 6月27日(金)19:30～21:00
場所 光行寺(豊岡市元町6-6)
ホスト 指導力開発委員会

■ 編集後記 ■

「相続」

税制改革により頭を抱えられている方も多いかと思いますが、なかなか馴染みはないですが、2015年には相続税も改正されるそうです。最近テレビなどでは、遺産相続争いなどを取り上げて放送されているのを見る機会も増えてきました。その他にも、家督相続や跡目相続など、相続というものは色々と問題を抱えているイメージがあります。

この「相続」という言葉は「^{くしやろん}俱舎論」などのいろいろな仏典などにも出て来る仏教語です。仏教では、すべての現象は諸行無常で、変化して一瞬一瞬生滅すると説きますが、その流れは継続すると説いています。

今、ここにローソクの火があるとします。この火それ自体は一瞬に燃えつきて滅し、その直後に別の火が燃えて、それが絶え間なく連続するから、一つの火として燃えているように見えている、というわけです。つまり、非連続の連続。これが相続であります。その仏教語が現代使われているように、引き続き起こること、受け継ぐことの意味となって、一般にも用いられるようになりました。

相続といっても、財産や名誉を相続することばかりではありません。先祖から、親から、先輩から受け継いできているものも大切な相続であります。今一度、自分自身に受け継がれているものを見つめなおしてみたいと思います。

(広報委員会)

発行日：平成26年5月9日
住所：豊岡市幸町6番35号
TEL：0796-22-4041

発行所：一般社団法人豊岡青年会議所
編集発行人：広報委員会
印刷：広報委員会